

第7回
テーマ

学校における働き方改革の推進 ①

小学校の事例

「働き方改革」って、
何のためにやって
るのかな？



■「学校における働き方改革の目的」

教師のこれまでの働き方を見直し、教師が我が国の学校教育の蓄積と向かい合って自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行なうことができるようにすることが学校における働き方改革の目的である。（中央教育審議会答申H31.1.31）

今回紹介する学校では、「校時表」を見直し下校時間を早めることで、**児童の家庭学習時間と教職員の授業準備等の時間を確保している事例**を紹介します。

「家庭学習計画表」の取組

目的：家庭学習を習慣化
取組期間：月1回1週間
取組内容：「学年×10+10分」
家庭学習を行う
取組記録：「家庭学習計画表」

高学年保護者から、
時間確保が難しいとの意見
がある。

Point

**校時表を見直し、
下校時間を早める
ことで対応**

「校時表」の見直し

1. 「チャレンジタイム」を午後から午前に移動することで校時表を5分間短縮
2. 昼休みを15分間短縮



下校時間を「**20分間**」
早めることが可能に

Point

**平日20分間
授業準備等
の時間が増加**



校時表

校時	普通(45分)	1-2年 月・火	水曜日	金曜日
児童登校		8:20		
チャレンジ	8:20~8:30	(水:フッ化物洗口)		
朝の会	8:30~8:40			
1校時	8:40~9:25			
2校時	9:30~10:15			
中休み	10:15~10:35			
3校時	10:35~11:20			
4校時	11:25~12:10			
給食	12:10~12:50			
昼休み	12:50~13:20			
掃除	13:20~13:35		水曜日 5校時 13:20-14:05	集会活動 委員会活動
5校時	13:40~14:25			全校 金曜日5課 学活にする
6校時	14:30~15:15	1-2年 月・火 5校時終了後	帰りの会 14:05-14:15 下校14:15	- 2・3年生 14:25-14:35 帰りの 14:35 下校

特に
水曜日は

Point

水曜日の下校時間 14:15
会議・研修① 14:30~15:30
教職員の休憩時間 15:30~15:45
会議・研修② 15:45~16:45

保護者の声：帰宅の時間が早まり、宿題等家庭学習をする時間が確保できてよい。
教職員の声：水曜日に効率的に会議・研修をすることで、その他の曜日の放課後に授業準備に充てる時間が確保できてよい。



第7回
テーマ

学校における働き方改革の推進②

小学校の事例

「働き方改革」の意識って、どうやって高めていくのかな？



■「教職員一人一人の働き方に関する意識改革」

学校における働き方改革を進めていくためには、校長をはじめとした管理職のマネジメント能力は必要不可欠である。マネジメント能力を高めていくためには、教職員全体に対して勤務時間を意識した働き方を浸透させることが重要である。（中央教育審議会答申H31.1.31）

今回紹介する学校では、「**タイムマネジメント**」による「**意識改革**」を通して、「**時間外在校等時間**」を**縮減**している事例を紹介します。

「自己申告カード」の取組

1時間以上残業する場合は「**自己申告カード**」を管理職に提示する



Point

「自己申告」をすることにより、優先順位をつけ能動的に仕事ができ、業務を自己管理する意識が高まった。

「タイムスケジュール」の取組

年間及び学期毎の「**タイムスケジュール**」を作成

日付			備考
10月3日	月	実施要項準備	
10月6日	木	運営委員会提案	
10月12日	水	職員会議提案	
10月14日	金	児童会提案	美化部長指導
10月20日	木	縦割り班会議	
10月28日	金	市環境課打合せ	日程確認
11月1日	水	美化委員会	道具準備
11月4日	金	クリーンアップ大作戦	当日運営
11月7日	月	感想書き	感想用紙
11月11日	金	児童会でまとめ	美化部長指導

Point

中期的、長期的に何をすべきか見通しを持ち、計画的に業務を行う意識が向上した。

教職員の時間外在校等時間平均 前年同月期 15%削減



第7回
テーマ

学校における働き方改革の推進③

中学校の事例

「働き方改革」
は地域とどう
進めていくの
かな？



■「学校における働き方改革と子供、家庭、地域社会」

学校における働き方改革を進めるに当たっては、「社会に開かれた教育課程」の理念も踏まえ、家庭や地域とともに子供を育てていくという視点に立ち、地域と学校の連携・協働の下、幅広い地域住民等とともに、地域全体で子供たちの成長を支え、学校内外を通じた子供の生活の充実や活性化を図ることが大切である。

(中央教育審議会答申H31.1.31)

今回紹介する学校では、「学校運営協議会」での協議を通して、学校・家庭・地域の役割分担を明確にし、働き方改革を推進している事例を紹介します。

取組内容



学校運営協議会において「学校評価の4点セット」を基に、教職員の働き方改革について協議

Point

コロナ対策消毒
〇〇中サポート
スタッフ結成！



消毒作業を実施するも学校運営協議会委員だけでは、作業が大変という課題も

Point

地域に呼びかけ
〇〇中サポート
スタッフ増員！！



地域からのボランティアも加わり、週4回の頻度で消毒作業を実施

Point

今後は消毒作業を
近隣小学校にも
拡充！！！！

■地域の声
・消毒作業を
実際に試してみ
て、先生方のご苦
労が改めてわか
りました。
■教職員の声
・生徒と関わる
時間が増えて、
ありがたい。
授業準備がで
き、生徒の授業
満足度がアップ
しました。

